

# 令和2年度(2020年度)用 小学校家庭科用 「新しい家庭5・6」指導計画作成資料(評価規準表)

それぞれの評価規準は「おおむね満足できる」状況(B)を示している。

- \*1 「思考・判断・表現」の観点では、①課題を設定する力、②解決方法を検討し、計画、立案する力、③課題の解決に向けて実現した結果を評価・改善する力、④評価・改善する際に考察したことを分かりやすく表現する力、に分けて評価規準を示している。そのうち③については、題材をどう構成するかによって、発表や評価・改善の学習がステップ2に入ることもあり、その場合は評価規準③はステップ2に入る。それにともない、観点「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準②「ふり返って、改善しようとしている」もステップ2で評価することになる。
- \*2 「主体的に学習に取り組む態度」の観点では、①ねばり強さ、②自らの学習の調整、③実践しようとする態度、に分けて示している。なお、これらの評価規準については、各題材の構成に応じて適切に位置付ける必要があることから、ステップ1、2、3を区切らずに示している。

※題材ごとの配当時間数や評価規準などは、今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

大題材名	時数	学習のめあて	知識・技能	思考・判断・表現*1	主体的に学習に取り組む態度*2	評価の方法 「努力を要する」状況(C)の児童へのサポート
ガイダンス	1	4年生までの学習や生活をふり返る中で自分の成長を自覚するとともに、家庭科に関心を持ち、学ぶ内容や学び方、教科のねらいなどを理解し、見通しをもって2年間の学習に取り組もうとする意欲を持つ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭科の目標や内容並びに生活を見つめる見方・考え方や学び方について理解している。</li> <li>・自分の成長を自覚し、家庭生活と家族の大切さや家庭生活が家族の協力によって営まれていることに気づいている。</li> </ul>		①②③ 家族の一員として、生活をよりよくしようと、2学年間の学習に見通しをもち、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。	発言・記録・行動観察  児童へのサポート 4年生までをふり返ることを通して、学習内容を確認させる。
第1大題材 私の生活、大発見！	計4	家庭の仕事について、家族との「協力」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識を身につけ、家族の一員として、家庭の仕事の計画を工夫することができる。	●家庭には、家庭生活を支える仕事があり、たがいに協力し分担する必要があることを理解している。	●家庭の仕事について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	●家族の一員として、生活をよりよくしようと、家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。	
(ステップ1) どんな生活をしているのかな	1	家庭にある仕事を見つけよう。自分や家族がどのように取り組んでいるか見てみよう。		①家庭の仕事について問題を見いだして課題を設定している。		発言・記録  児童へのサポート イラスト(p.6)を見るポイント(家庭の仕事、家族の協力)を与え、家庭の仕事と自分との関わりを具体的に考えさせることを通して、問題や課題に気づかせる。
(ステップ2) 自分でできそうな 家庭の仕事を見つけよう	2	家庭で使う用具を知り、その用具を使って活動してみよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭には、家庭生活を支える仕事があり、たがいに協力し分担する必要があることについて理解している。</li> <li>・調理に必要な用具や食器の安全で衛生的な取りあつかい及び加熱用調理器具の安全な取りあつかいについて理解しているとともに、適切に使用できる。</li> </ul>	②家庭の仕事についてさまざまな解決方法を考え、工夫している。	①家族の一員として、家庭生活と仕事について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	発言・記録・行動観察  児童へのサポート 家庭科室の用具と家庭の仕事との関連、用具の安全なあつかい、お茶のいれ方等のポイントを与え、なぜそうするのかを具体的に考えさせることを通して、理解を深め、適切に工夫できるようにする。
(ステップ3) できることを増やしていこう	1	家族の一員として、進んで家庭生活に関わる計画を立てよう。		③家庭の仕事について、実践を評価したり、計画を改善したりしている。 ④家庭の仕事についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	②家族の一員として、家庭生活と仕事について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 ③家族の一員として、生活をよりよくしようと、家庭生活と仕事について、工夫し、実践しようとしている。	発言・記録・行動観察  児童へのサポート 「活動」や手順、「できたかな？」を確認させ、実践を具体的にふり返ることを通して、改善したい点や新たな課題に気づかせる。

大題材名	時数	学習のめあて	知識・技能		思考・判断・表現*1	主体的に学習に取り組む態度*2	評価の方法 「努力を要する」状況(C)の児童へのサポート
第2大題材 おいしい楽しい調理の力	計6	ゆでる調理について、「健康・快適・安全」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、おいしく食べるための調理計画を考え、調理の仕方を工夫することができる。	●ゆでる調理の計画や調理の仕方について理解しているとともに、適切にできる。		●おいしく食べるためにゆでる調理の計画や調理の仕方について課題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	●家族の一員として、生活をよりよくしようと、調理の基礎について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。	
(ステップ1) 調理の目的や手順を考えよう	1	どのように調理を進めたらよいか考えよう。			①おいしく食べるためにゆでる調理の計画や調理の仕方について課題を見いだして課題を設定している。		発言・記録 児童へのサポート 写真(p.14)を見るポイント(調理法、ゆでる調理のよさなど)を与え、調理の目的や手順を具体的に考えさせることを通して、問題や課題に気づかせる。
(ステップ2) ゆでる調理をしよう	4	食品や調理の目的に合ったゆで方が分かり、安全に野菜やいもなどがゆでられるようになる。	・調理に必要な材料の分量や手順が分かり、調理計画について理解している。 ・調理に必要な用具や食器の安全で衛生的な取りあつかい及び加熱用調理器具の安全な取りあつかいについて理解しているとともに、適切に使用できる。 ・材料に応じた洗い方、調理に適した切り方、味の付け方、盛りつけ、配膳及び後かたづけを理解しているとともに、適切にできる。 ・材料に適したゆで方を理解しているとともに、適切にできる。		②おいしく食べるためにゆでる調理の計画や調理の仕方についてさまざまな解決方法を考え、工夫している。	①ゆでる調理の基礎について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	発言・記録・行動観察 児童へのサポート 材料に適したゆで方や用具の取りあつかい、手順などおいしく食べるためのポイントを与え、調理の仕方を具体的に考えさせることを通して、調理が適切にできるようにする。
(ステップ3) 工夫しておいしい料理にしよう	1	ゆでる調理の仕方を工夫したりして、食事作りに生かそう。			③おいしく食べるためにゆでる調理の計画や調理の仕方について、実践を評価したり、改善したりしている。 ④おいしく食べるためにゆでる調理の計画や調理の仕方についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	②ゆでる調理の基礎について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 ③家族の一員として、生活をよりよくしようと、ゆでる調理の基礎について、工夫し、実践しようとしている。	発言・記録・行動観察 児童へのサポート 「活動」や調理手順、「できたかな？」を確認させ、実践を具体的にふり返ることを通して、改善したい点や新たな課題に気づかせる。
第3大題材 ひと針に心をこめて	計9	生活を豊かにするための布を用いた手ぬいの製作について、「健康・快適・安全」の視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、製作計画を考え、製作を工夫することができる。	●製作計画や手ぬいによる製作の仕方について理解しているとともに、適切にできる。		●生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や手ぬいによる製作について課題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	●家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いた手ぬいによる製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。	
(ステップ1) 針と糸を使ってできること	1	針と糸を使ってできることを見つけよう。			①生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や手ぬいによる製作について課題を見いだして課題を設定している。		発言・記録 児童へのサポート 写真(p.24)や身の回りの布製品を確認させ、針と糸を使って何ができるようになりたいかを考えさせることを通して、問題や課題に気づかせる。
(ステップ2) 手ぬいにトライ!	7	玉結び・玉どめ・なみぬい・返しぬい・ボタン付けが正しく安全にできるようになる。	・ボタンの付け方を理解しているとともに、適切にできる。 ・手ぬいによる製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画について理解している。 ・手ぬいによる目的に応じたぬい方及び用具の安全な取りあつかいについて理解しているとともに、適切にできる。		②生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や手ぬいによる製作についてさまざまな解決方法を考え、工夫している。	①生活を豊かにするための布を用いた手ぬいによる製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	発言・記録・行動観察 児童へのサポート 手ぬいの手順や目的に応じたぬい方のポイントを与え、目的に合った布製品にする方法を具体的に考えさせることを通して、理解を深め、製作が適切にできるようにする。
(ステップ3) 手ぬいのよさを生活に生かそう	1	手ぬいのよさを生かしてやってみたいことを考え、計画しよう。			③生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や手ぬいによる製作について、実践を評価したり、改善したりしている。 ④生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や手ぬいによる製作についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	②生活を豊かにするための布を用いた手ぬいによる製作について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 ③家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いた手ぬいによる製作について、工夫し、実践しようとしている。	発言・記録・行動観察 児童へのサポート 製作物とともに製作手順や「できたかな？」を確認させ、実践を具体的にふり返ることを通して、改善したい点や新たな課題に気づかせる。

大題材名	時数	学習のめあて	知識・技能		思考・判断・表現*1	主体的に学習に取り組む態度*2	評価の方法 「努力を要する」状況(C)の児童へのサポート
<b>第4大題材</b> 持続可能な暮らしへ 物やお金の使い方	計6	物や金銭の使い方と買い物について、「持続可能な社会の構築」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、消費者として、物の選び方、買い方、使い方を考え、工夫することができる。	●物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について理解しているとともに、購入に必要な情報の収集・整理が適切にできる。		●物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について課題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	●家族の一員として、生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。	
(ステップ1) 上手に選ぶために考えよう	1	消費者の役割とは何か考えよう。物を手に入れるためのいろいろな方法を見つけよう。			①身近な物の選び方、買い方について、さらに、環境に配慮した生活について物の使い方などに課題を見いだして課題を設定している。		発言・記録  児童へのサポート イラスト(p.32)を見るポイント(店、買い物、サービスなど)を与え、必要なものを手に入れる方法を具体的に考えさせることを通して、問題や課題に気づかせる。
(ステップ2) 買い物の仕方について考えよう	4	目的に合った選び方、買い方ができるようになる。	・買い物の仕組みや消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解している。 ・身近な物の選び方、買い方を理解しているとともに、購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできる。 ・自分の生活と身近な環境との関わりや環境に配慮した物の使い方などについて理解している。		②身近な物の選び方、買い方について、さらに、環境に配慮した生活について物の使い方などさまざまな解決方法を考え、工夫している。	①家族の一員として、物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	発言・記録・行動観察  児童へのサポート 買い物の仕方や手順、環境への配慮等のポイントを与え、目的に合った選び方、買い方を具体的に考えさせることを通して、身近な物の選び方、買い方を工夫できるようにする。
(ステップ3) 上手に暮らそう	1	上手な物の選び方、使い方の学習を生かして、環境や資源に配慮した生活を工夫しよう。			③身近な物の選び方、買い方について、さらに、環境に配慮した生活について物の使い方などの実践を評価したり、改善したりしている。 ④身近な物の選び方、買い方について、さらに、環境に配慮した生活について物の使い方などの課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	②家族の一員として、物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 ③家族の一員として、生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について、工夫し、実践しようとしている。	発言・記録・行動観察  児童へのサポート 「活動」や買い方の手順を確認させ、実践を具体的にふり返ることを通して、改善したい点や新たな課題に気づかせる。
<b>第5大題材</b> 食べて元気！ご飯とみそ汁	計10	食事の役割と栄養、伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理について、「健康・快適・安全」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、調理計画を考え、調理の仕方を工夫することができる。	●食事の役割と栄養について理解しているとともに、伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理計画や調理の仕方について理解し、適切にできる。		●食事の役割と栄養、伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理計画や調理の仕方について課題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	●家族の一員として、生活をよりよくしようと、食事の役割や調理の基礎について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。	
(ステップ1) 毎日の食事を見つめよう	1	毎日の食事をふり返り、どのような物を食べているのか考えよう。			①健康においしく食べるための食事のとり方について課題を見いだして課題を設定している。		発言・記録  児童へのサポート 写真(p.40)や自分の夕食を見るポイント(いろいろな食品、和食、栄養など)を与え、毎日の食事を具体的に考えさせることを通して、問題や課題に気づかせる。
(ステップ2) 日常の食事のとり方を考えて、調理しよう	8	伝統的な日常食であるご飯とみそ汁を作ろう。また、食事の役割や栄養バランスを考えよう。	・食事の役割が分かり、日常の食事の大切さと食事の仕方について理解している。 ・調理に必要な材料の分量や手順が分かり、調理計画について理解している。 ・調理に必要な用具や食器の安全で衛生的な取りあつかい及び加熱用調理器具の安全な取りあつかいについて理解しているとともに、適切に使用できる。 ・材料に応じた洗い方、調理に適した切り方、味の付け方、盛りつけ、配膳及び後かたづけを理解しているとともに、適切にできる。 ・伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理の仕方を理解しているとともに、適切にできる。 ・体に必要な栄養素の種類と主な働きについて理解している。 ・食品の栄養的な特徴が分かり、料理や食品を組み合わせるとる必要があることを理解している。		②栄養のバランスを考え、おいしく食べるために調理計画や調理の仕方について、さまざまな解決方法を考え、工夫している。	②調理の基礎について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	発言・記録・行動観察  児童へのサポート ご飯とみそ汁の作り方や栄養のバランスを考えるためのポイントを与え、なぜそうするのかという理由や調理の仕方、栄養のバランスを具体的に考えさせることを通して、理解を深め、調理が適切にできるようにする。
(ステップ3) 食生活を工夫しよう	1	ご飯やみそ汁の調理で身についたことを家庭生活に生かそう。			③おいしく食べるために調理計画や調理の仕方について、実践を評価したり、改善したりしている。 ④おいしく食べるために調理計画や調理の仕方についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	②調理の基礎について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 ③家族の一員として、生活をよりよくしようと、調理の基礎について、工夫し、実践しようとしている。	発言・記録・行動観察  児童へのサポート 「活動」や調理手順、「できたかな？」を確認させ、実践を具体的にふり返ることを通して、改善したい点や新たな課題に気づかせる。

大題材名	時数	学習のめあて	知識・技能		思考・判断・表現*1	主体的に学習に取り組む態度*2	評価の方法 「努力を要する」状況(C)の児童へのサポート
第6大題材 物を生かして住みやすく	計7	気持ちのよい住まい方について、「健康・快適・安全」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、住まいの整理・整頓や清掃の仕方、環境や資源を大切に物の使い方などを考え、工夫することができる。	●住まいの整理・整頓や清掃の必要性や仕方について理解しているとともに、適切にできる。		●住まいの整理・整頓や清掃の仕方や環境に配慮した生活について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	●家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方や環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。	
(ステップ1) 身の回りや生活の場を見つめよう	1	身の回りを気持ちのよい場所にするために必要な仕事を見つけよう。			①住まいの整理・整頓や清掃の仕方、環境に配慮した生活における物の使い方などについて問題を見いだして課題を設定している。		発言・記録  児童へのサポート 写真(p.50)を見るポイント(気持ちよさ、整理・整頓、清掃など)を与え、何が問題なのか快適な環境を具体的に考えさせることを通して、問題や課題に気づかせる。
(ステップ2) 身の回りをきれいにしよう	5	整理・整頓やそうじの必要性が分かり、それらの適切な仕方を考え、手順に沿って実践しよう。	・住まいの整理・整頓や清掃の仕方を理解しているとともに、適切にできる。 ・自分の生活と身近な環境との関わりや環境に配慮した物の使い方などについて理解している。		②住まいの整理・整頓や清掃の仕方、環境に配慮した生活における物の使い方などについてさまざまな解決方法を考え、工夫している。	①家族の一員として、快適な住まい方や環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	発言・記録・行動観察  児童へのサポート 整理・整頓や清掃の手順やよごれにあったそうじのポイントを与え、なぜそうするのかという理由とともに気持ちよく生活するための方法を考えさせることを通して、理解を深め、適切にできるようにする。
(ステップ3) 物を生かして快適に生活しよう	1	これまでに学習したことを生かして気持ちよく住むための計画を立てよう。			③住まいの整理・整頓や清掃の仕方、環境に配慮した生活における物の使い方などについての実践を評価したり、改善したりしている。 ④住まいの整理・整頓や清掃の仕方、環境に配慮した生活における物の使い方などについての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	②家族の一員として、快適な住まい方や環境に配慮した生活について課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 ③家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方や環境に配慮した生活について工夫し、実践しようとしている。	発言・記録・行動観察  児童へのサポート 手順や「できたかな？」を確認させ、実践を具体的にふり返ることを通して、改善したい点や新たな課題に気づかせる。
第7大題材 気持ちがつながる 家族の時間	計2	家族との関わりについて、家族の「協力」などの視点から、課題をもって、家族とのふれ合いや団らんの大切さを理解し、よりよい関わりを考え、工夫することができる。	●家族とのふれ合いや団らんの大切さについて理解している。		●家族とのよりよい関わりについて問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	●家族の一員として、生活をよりよくしようと、家族との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。	
(ステップ1) 家族とふれ合う時間を見つけよう	0.5	団らんのよさを見つけよう。			①家族とのよりよい関わりについて問題を見いだして課題を設定している。		発言・記録  児童へのサポート イラスト(p.58)を見るポイント(家族、団らん)を与え、家族と過ごす自分の時間について具体的に考えさせることを通して、問題や課題に気づかせる。
(ステップ2) わが家流団らんタイム	1	団らんの計画をし、実践しよう。	・家族とのふれ合いや団らんの大切さについて理解している。		②家族とのよりよい関わりについてさまざまな解決方法を考え、工夫している。	①家族の一員として、家族との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	発言・記録・行動観察  児童へのサポート 団らんに必要なポイントを与え、団らんの仕方を具体的に考えさせることを通して、「わが家流団らんタイム」の計画を工夫できるようにする。
(ステップ3) 団らんを生活の中に生かそう	0.5	家族とのつながりを深めるための工夫をして、生活の中で実践しよう。			③家族とのよりよい関わりについて、実践を評価したり、改善したりしている。 ④家族とのよりよい関わりについての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	②家族の一員として、家族との関わりについて、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 ③家族の一員として、生活をよりよくしようと、家族との関わりについて、工夫し、実践しようとしている。	発言・記録・行動観察  児童へのサポート 団らん計画と家族の感想などを確認させ、実践を具体的にふり返ることを通して、改善したい点や新たな課題に気づかせる。

大題材名	時数	学習のめあて	知識・技能		思考・判断・表現*1	主体的に学習に取り組む態度*2	評価の方法 「努力を要する」状況(C)の児童へのサポート
第8大題材 ミシンにトライ！ 手作り楽しい生活	計11	生活を豊かにするための布を用いたミシンぬいによる製作について、「健康・快適・安全」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、製作計画を考え、製作を工夫することができる。	●製作計画やミシンぬいによる製作の仕方について理解しているとともに、適切にできる。		●生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画やミシンぬいによる製作について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	●家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いたミシンぬいによる製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。	
①ステップ1 ミシンぬいのよさを見つけよう	1	身の回りの布製品を見つめ、ミシンでぬわれた物のぬい目やぬい方の特徴を見つけよう。			①生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画やミシンぬいによる製作について問題を見いだして課題を設定している。		発言・記録  児童へのサポート 写真(p.62)や身の回りのミシンぬいによる布製品を確認させ、ミシンぬいのよさとミシンぬいで何を作りたいかを考えさせることを通して、問題や課題に気づかせる。
②ステップ2 ミシンにトライ！	9	安全なミシンの使い方を身につけ、計画を立てて生活に役立つ物を作ろう。	・ミシンぬいによる製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画について理解している。 ・ミシンぬいによる目的に応じたぬい方及び用具の安全な取りあつかいについて理解しているとともに、適切にできる。		②生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画やミシンぬいによる製作についてさまざまな解決方法を考え、工夫している。	①生活を豊かにするための布を用いたミシンぬいによる製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	発言・記録・行動観察  児童へのサポート ミシンぬいの手順や目的に応じたぬい方のポイントを与え、生活を豊かにする目的に合った布製品にする方法を具体的に考えさせることを通して、理解を深め、製作が適切にできるようにする。
③ステップ3 世界に一つだけの作品を 楽しく使おう	1	手ぬいやミシンぬいのよさに気づき、作品やぬい方を生活に生かそう。			③生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画やミシンぬいによる製作について、実践を評価したり、改善したりしている。 ④生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画やミシンぬいによる製作についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	②生活を豊かにするための布を用いたミシンぬいによる製作について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 ③家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いたミシンぬいによる製作について、工夫し、実践しようとしている。	発言・記録・行動観察  児童へのサポート 製作物とともに製作手順や「できたかな？」を確認させ、実践を具体的にふり返ることを通して、改善したい点や新たな課題に気づかせる。
5年生のまとめ	計1	5年生の学習でできるようになったことをふり返って、家庭や地域に生かそう。				③これまでの学習をふり返ってできるようになったことを確認し、家庭の一員として生活をよりよくしようと工夫し、家庭や地域で実践しようとしている。	
生活を変えるチャンス！	計3	学習したことを生かして、日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、生活の営みに係る見方・考え方を働かせて、よりよい生活を考え、計画を立てて実践することができる。			①家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりについて日常生活の中から問題を見いだして課題を設定している。 ②家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりに関する課題解決に向けて、よりよい方法を考え、計画を工夫している。 ③家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりに関する課題解決に向けた一連の活動について、考えた事を分かりやすく表現している。 ④家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりに関する課題解決に向けて実践した結果を評価・改善している。	①家族の一員として、生活をよりよくしようと、家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりに関する課題解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ②家族の一員として、生活をよりよくしようと、家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりに関する課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 ③家族の一員として、生活をよりよくしようと、家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりに関する課題を見つけ、次の実践に取り組もうとしている。	発言・記録・行動観察

大題材名	時数	学習のめあて	知識・技能		思考・判断・表現*1	主体的に学習に取り組む態度*2	評価の方法 「努力を要する」状況(C)の児童へのサポート
第9大題材 見つめてみよう生活時間	計2	生活時間について、家族との「協力」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識を身につけ、家族の一員として、生活時間の使い方を考え、工夫することができる。	●生活時間の有効な使い方について理解している。		●家庭の仕事について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	●家族の一員として、生活をよりよくしようと、家庭生活と仕事について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。	
(ステップ1) 生活時間を見つめてみよう	0.5	1日の生活の仕方を調べ、生活の課題を見つけよう。			①生活時間の有効な使い方について問題を見いだして課題を設定している。		発言・記録  児童へのサポート 自分の時間の使い方(活動1)を見るポイント(協力、健康等)を与え、時間を有効に使っているか具体的に考えさせることを通して、問題や課題に気づかせる。
(ステップ2) 生活時間を工夫しよう	1	生活時間の有効な使い方を工夫しよう。	・生活時間の有効な使い方について理解している。		②生活時間の有効な使い方についてさまざまな解決方法を考え、工夫している。	①家族の一員として、生活時間の有効な使い方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	発言・記録  児童へのサポート 事例「わが家のすてき時間作戦」のよさやポイント(健康、協力、団らん等)を与えることを通して、わが家の時間の使い方を考えさせる。
(ステップ3) 生活時間を有効に使おう	0.5	生活時間の有効な使い方を工夫して豊かな家庭生活をつくっていこう。			③生活時間の有効な使い方について、実践を評価したり、改善したりしている。 ④生活時間の有効な使い方についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	②家族の一員として、家庭生活と仕事について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 ③家族の一員として、生活をよりよくしようと、家庭生活と仕事について、工夫し、実践しようとしている。	発言・記録・行動観察  児童へのサポート 自分の実践計画や家族の感想、友達の工夫やアドバイスを確認させるなど具体的に実践をふり返ることを通して、改善したい点や新たな課題に気づかせる。

大題材名	時数	学習のめあて	知識・技能		思考・判断・表現*1	主体的に学習に取り組む態度*2	評価の方法 「努力を要する」状況(C)の児童へのサポート
第10大題材 朝食から 健康な1日の生活を	計10	朝食の役割と栄養、いためる調理について、「健康・快適・安全」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、調理計画を考え、いためる調理の工夫を工夫することができる。	●食事の役割と栄養を考えた食事について理解しているとともに、いためる調理について理解し、適切にできる		●食事の役割と栄養を考えた食事、いためる調理について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	●家族の一員として、生活をよりよくしようと、食事の役割と栄養を考えた食事、調理の基礎について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。	
①ステップ1 朝食の役割を考えよう	1	毎日の生活をふり返り、朝食の役割を考えよう。	・食事の役割が分かり、日常の食事の大切さと食事の仕方について理解している。		①楽しく食べるための日常の食事の仕方やいためる調理の計画や調理の仕方について問題を見いだして課題を設定している。		発言・記録 児童へのサポート 「Aさんの朝食」(表p.78)や自分の朝食を見るポイント(食品数や栄養など)を与え、健康な食生活を具体的に考えさせることを通して、問題や課題に気づかせる。
②ステップ2 いためる調理で 朝食のおかずを作ろう	7	いろいろな食品のいため方が分かり、栄養のバランスを考えた朝食のおかずを作れるようになろう。	・食品の栄養的な特徴が分かり、料理や食品を組み合わせるとる必要があることを理解している。 ・調理に必要な材料の分量や手順が分かり、調理計画について理解している。 ・調理に必要な用具や食器の安全で衛生的な取りあつかい及び加熱用調理器具の安全な取りあつかいについて理解しているとともに、適切に使用できる。 ・材料に応じた洗い方、調理に適した切り方、味の付け方、盛りつけ、配膳及び後かたづけを理解しているとともに、適切にできる。 ・材料に適したいため方を理解しているとともに、適切にできる。		②楽しく食べるための日常の食事の仕方やいためる調理の計画や調理の仕方について、さまざまな解決方法を考え、工夫している。	①日常の食事の仕方やいためる調理の基礎について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	発言・記録 児童へのサポート 栄養のバランスの考え方や材料を好みのかたさに仕上げるためのポイントを与え、調理の仕方を具体的に考えさせることを通して、調理が適切にできるようにする。
③ステップ3 朝食から健康な生活を始めよう	2	朝食の学習を生かし、健康な生活を送るために家庭で朝食の計画を立てよう。			③楽しく食べるための日常の食事の仕方やいためる調理の計画や調理の仕方について、実践を評価したり、改善したりしている。 ④楽しく食べるための日常の食事の仕方やいためる調理の計画や調理の仕方についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	②日常の食事の仕方やいためる調理の基礎について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 ③家族の一員として、生活をよりよくしようと、日常の食事の仕方やいためる調理の基礎について、工夫し、実践しようとしている。	発言・記録・行動観察 児童へのサポート 「活動」や調理手順、「できたかな?」を確認させ、実践を具体的にふり返ることを通して、改善したい点や新たな課題に気づかせる。

大題材名	時数	学習のめあて	知識・技能		思考・判断・表現*1	主体的に学習に取り組む態度*2	評価の方法 「努力を要する」状況(C)の児童へのサポート
第11大題材 夏をすずしくさわやかに	計8	夏の快適な住まい方や衣服の着方と手入れについて、「健康・快適・安全」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、夏をすずしく快適に過ごすための住まい方や着方・手入れについて考え、工夫することができる。	●住まいの働きや季節の変化に合わせた夏の住まい方や衣服の着方について理解するとともに、日常着の手入れの仕方を理解し、適切にできる。		●季節の変化に合わせた夏の住まい方や衣服の着方と手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	●家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方や衣服の着用と手入れについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。	
①ステップ1 夏の生活を見つめよう	1	夏の生活の特徴から、工夫していることを見つけよう。	・住まいの主な働きが分かる。		①季節の変化に合わせた夏の住まい方や衣服の着方と手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定している。		発言・記録  児童へのサポート イラスト(図p.86)を見るポイント(日光, 風, 音, 着方)を与え、夏の快適な過ごし方を具体的に考えさせることを通して、問題や課題に気づかせる。
②ステップ2 すずしくさわやかな 住まい方や着方をしよう	6	夏に快適に過ごすための住まい方や衣服の着方, 手入れができるようになるよう。	・季節の変化に合わせた生活の大切さや夏の住まい方について理解している。 ・衣服の主な働きが分かり、季節や状況に応じた日常着の快適な着方について理解している。 ・日常着の手入れが必要であることや洗濯の仕方を理解しているとともに、適切にできる。		②季節の変化に合わせた夏の住まい方や衣服の着方と手入れの仕方について、さまざまな解決方法を考え、工夫している。	①快適な住まい方や衣服の着用と手入れについて、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	発言・記録  児童へのサポート 夏を快適に過ごすための住まい方や着方, 手入れ, 洗濯のポイントを与え、なぜそうするのかを具体的に考えさせることを通して、理解を深め、適切に工夫できるようにする。
③ステップ3 夏の生活を工夫しよう	1	これまで学習したことを生かして、自分の生活を見直し、夏の住まい方や着方の工夫を計画しよう。			③季節の変化に合わせた夏の住まい方や衣服の着方と手入れの仕方について、実践を評価したり、改善したりしている。 ④季節の変化に合わせた夏の住まい方や衣服の着方と手入れの仕方についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	②快適な住まい方や衣服の着用と手入れについて、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 ③家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方や衣服の着用と手入れについて、工夫し、実践しようとしている。	発言・記録・行動観察  児童へのサポート 「活動」や手順、「できたかな?」を確認させ、実践を具体的にふり返ることを通して、改善したい点や新たな課題に気づかせる。
第12大題材 思いを形にして 生活を豊かに	計14	生活を便利で豊かにするための布を用いた製作について、「健康・快適・安全」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、目的に合った製作計画を考え、製作を工夫することができる。	●製作計画やミシンぬいによる製作の仕方について理解しているとともに、適切にできる。		●生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画やミシンぬいによる製作について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	●家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いたミシンぬいによる製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。	
①ステップ1 目的に合った形や大きさ、 ぬい方を考えよう	1	目的に合ったふくろなどを製作するために必要なポイントを考えよう。			①生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画やミシンぬいによる製作について問題を見いだして課題を設定している。		発言・記録  児童へのサポート 生活を豊かにする布製品のポイント(使いやすさ, 丈夫さ, 便利さ等)を与え、何を作りたいか具体的に考えさせることを通して、問題や課題に気づかせる。
②ステップ2 計画を立てて、工夫して作ろう	12	目的に合った布作品の製作計画を立て、安全に製作しよう。	・ミシンぬいによる製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画について理解している。 ・ミシンぬいによる目的に応じたぬい方及び用具の安全な取りあつかいについて理解しているとともに、適切にできる。		②生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画やミシンぬいによる製作についてさまざまな解決方法を考え、工夫している。	①生活を豊かにするための布を用いたミシンぬいによる製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	発言・記録  児童へのサポート 手順や目的に応じたぬい方のポイントを与え、目的に合った布製品にする方法を具体的に考えさせることを通して、製作が適切にできるようにする。
③ステップ3 衣生活を楽しく豊かにしよう	1	製作を通して学んだことを生かして、生活を豊かにする計画を立てよう。			③生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画やミシンぬいによる製作について、実践を評価したり、改善したりしている。 ④生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画やミシンぬいによる製作についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	②生活を豊かにするための布を用いたミシンぬいによる製作について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 ③家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いたミシンぬいによる製作について、工夫し、実践しようとしている。	発言・記録・行動観察  児童へのサポート 自分の作品や「できたかな?」を確認させ、実践を具体的にふり返ることを通して、改善したい点や新たな課題に気づかせる。



大題材名	時数	学習のめあて	知識・技能		思考・判断・表現*1	主体的に学習に取り組む態度*2	評価の方法 「努力を要する」状況(C)の児童へのサポート
第13大題材 まかせてね 今日の食事	計10	栄養を考えた食事について、「健康・快適・安全」などの視点から、課題をもって、1食分の献立と環境に配慮した調理に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、栄養のバランスを考えた1食分の献立を工夫することができる。	●1食分の献立の栄養のバランスや買い物の仕方、環境に配慮した調理の仕方について理解しているとともに、購入に必要な情報の収集・整理が適切にできる。		●1食分の献立の栄養のバランスや買い物の仕方、環境に配慮した調理の仕方について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	●家族の一員として、生活をよりよくしようと、栄養を考えた食事や買い物、環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。	
①ステップ1 献立の立て方を考えよう	1	1食分の献立に必要なことを考えよう。			①1食分の献立の栄養のバランスについて問題を見いだして課題を設定している。		発言・記録  児童へのサポート 2枚の写真(図p.106)を見るポイント(主食、主菜、栄養のバランスなど)を与え、献立に必要なことを具体的に考えさせることを通して、問題や課題に気づかせる。
②ステップ2 1食分の献立を立てて、調理しよう	8	1食分の献立を立てて、環境に配慮し調理しよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>体に必要な栄養素の種類と主な働きについて理解している。</li> <li>食品の栄養的な特徴が分かり、料理や食品を組み合わせるとる必要があることを理解している。</li> <li>献立を構成する要素が分かり、1食分の献立作成の方法について理解している。</li> <li>身近な物の選び方、買い方を理解しているとともに、購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできる。</li> <li>環境に配慮した調理の仕方などについて理解している。</li> </ul>		②1食分の献立の栄養のバランスや買い物の仕方、環境に配慮した調理の仕方について、さまざまな解決方法を考え、工夫している。	①栄養を考えた食事や買い物、環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	発言・記録  児童へのサポート 献立の栄養のバランスの考え方や食材の買い方、環境に配慮した調理とするためのポイントを与え、なぜそうするのかを具体的に考えさせることを通して、理解を深め、適切に工夫できるようにする。
③ステップ3 楽しく食事をするために計画を立てよう	1	楽しく食事をするための工夫について考えよう。			③1食分の献立の栄養のバランスや買い物の仕方、環境に配慮した調理の仕方について、実践を評価したり、改善したりしている。 ④1食分の献立の栄養のバランスや買い物の仕方、環境に配慮した調理の仕方についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	②栄養を考えた食事や買い物、環境に配慮した生活について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 ③家族の一員として、生活をよりよくしようと、栄養を考えた食事や買い物、環境に配慮した生活について、工夫し、実践しようとしている。	発言・記録・行動観察  児童へのサポート 「活動」や献立の立て方、調理手順、「できたかな？」を確認させ、実践を具体的にふり返ることを通して、改善したい点や新たな課題に気づかせる。
第14大題材 冬を明るく暖かく	計5	冬の快適な住まい方や衣服の着方について、「健康・快適・安全」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、冬を暖かく快適に過ごすための住まい方や着方について考え、工夫することができる。	●住まいの働きや季節の変化に合わせた冬の住まい方や衣服の着方について理解している。		●季節の変化に合わせた冬の住まい方や衣服の着方について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	●家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方や衣服の着用について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。	
①ステップ1 冬の生活を見つめよう	1	冬の生活の特徴から、工夫していることを見つけよう。			①季節の変化に合わせた冬の住まい方や衣服の着方について問題を見いだして課題を設定している。		発言・記録  児童へのサポート イラスト(図p.116)を見るポイント(日光、風、着方)を与え、冬の快適な過ごし方を具体的に考えさせることを通して、問題や課題に気づかせる。
②ステップ2 明るく暖かい着方や住まい方をしよう	3	寒い季節に快適に過ごすために衣服の着方や住まい方ができるようになろう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>住まいの主な働きが分かり、季節の変化に合わせた生活の大切さや冬の住まい方について理解している。</li> <li>衣服の主な働きが分かり、季節や状況に応じた日常着の快適な着方について理解している。</li> </ul>		②季節の変化に合わせた冬の住まい方や衣服の着方について、さまざまな解決方法を考え、工夫している。	①快適な住まい方や衣服の着用について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	発言・記録  児童へのサポート 冬を快適に過ごすための住まい方や着方のポイントを与え、なぜそうするのかを具体的に考えさせることを通して、理解を深め、適切に工夫できるようにする。
③ステップ3 冬の生活を工夫しよう	1	これまで学習したことを生かして、自分の生活を見直し、冬の着方や住まい方の工夫を計画しよう。			③季節の変化に合わせた冬の住まい方や衣服の着方について、実践を評価したり、改善したりしている。 ④季節の変化に合わせた冬の住まい方や衣服の着方についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	②快適な住まい方や衣服の着用と手入れについて、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 ③家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方や衣服の着用と手入れについて、工夫し、実践しようとしている。	発言・記録・行動観察  児童へのサポート 「活動」やこれまでの学習を確認させ、実践を具体的にふり返ることを通して、改善したい点や新たな課題に気づかせる。

大題材名	時数	学習のめあて	知識・技能		思考・判断・表現*1	主体的に学習に取り組む態度*2	評価の方法 「努力を要する」状況(C)の児童へのサポート
第15大題材 あなたは家庭や地域の宝物	計2	家族や地域の人々との関わりについて、家族や地域の人々との「協力」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識を身につけ、よりよい関わりについて考え、工夫することができる。	●家庭生活は地域の人々との関わりで成り立っていることが分かり、地域の人々との協力が大切であることを理解している。		●家族や地域の人々との関わりについて問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	●家族の一員として、生活をよりよくしようと、家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。	
(ステップ1) 家族や地域の一員として	0.5	自分や家族が、地域の人々とどのように関わっているか考えよう。			①家族や地域の人々とのよりよい関わりについて問題を見いだして課題を設定している。		発言・記録 児童へのサポート イラスト(図p.122)や活動2を見るポイント(地域の人々との協力・協働、環境など)を与え、家族や地域の人々との関わりを具体的に考えさせることを通して、問題や課題に気づかせる。
(ステップ2) 私から地域につなげよう！ 広げよう！	1	2年間の学習を生かして、地域や家庭をよりよくする工夫を考えよう。	・家庭生活は地域の人々との関わりで成り立っていることが分かり、地域の人々との協力が大切であることを理解している。		②家族や地域の人々とのよりよい関わりについてさまざまな解決方法を考え、工夫している。	①家族の一員として、家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	発言・記録 児童へのサポート 地域の人々とのつながりを深めるポイント(感謝、協力、安全、環境等)を与え、なぜそうするのかを具体的に考えさせることを通して、理解を深め、適切に工夫できるようにする。
(ステップ3) もっとかがやく これからの私たち	0.5	家族の一員として家庭や地域でできることを考えよう。			③家族や地域の人々とのよりよい関わりについて、実践を評価したり、改善したりしている。 ④家族や地域の人々とのよりよい関わりについての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	②家族の一員として、家族や地域の人々との関わりについて、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 ③家族の一員として、生活をよりよくしようと、家族や地域の人々との関わりについて、工夫し、実践しようとしている。	発言・記録・行動観察 児童へのサポート 実践の目的と計画を確認させ、実践したことを具体的にふり返ることを通して、改善したい点や新たな課題に気づかせる。
2年間のまとめ	計1	2年間の学習でできるようになったことをふり返って、家庭や地域に生かそう。				③これまでの学習をふり返ってできるようになったことを確認し、家族の一員として生活をよりよくしようと工夫し、家庭や地域で実践しようとしている。	
生活を変えるチャンス！	計3	学習したことを生かして、日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、生活の営みに係る見方・考え方を働かせて、よりよい生活を考え、計画を立てて実践することができる。			①家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりについて日常生活の中から問題を見いだして課題を設定している。 ②家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりに関する課題解決に向けて、よりよい方法を考え、計画を工夫している。 ③家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりに関する課題解決に向けた一連の活動について、考えた事を分かりやすく表現している。 ④家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりに関する課題解決に向けて実践した結果を評価・改善している。	①家族の一員として、生活をよりよくしようと、家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりに関する課題解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ②家族の一員として、生活をよりよくしようと、家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりに関する課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 ③家族の一員として、生活をよりよくしようと、家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりに関する課題を見つけ、次の実践に取り組もうとしている。	